

社会福祉法人宇和島市民共済会  
令和2年度事業計画  
(居宅介護支援事業所)

## 1. 運営方針

居宅介護支援事業所は、加齢に伴って生ずる心身の変化に起因する疾病等により、要介護状態となっても可能な限り居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことが出来るよう、利用者の選択に基づき適切な保健医療サービス及び福祉サービスを総合的・効率的に提供し利用者を支援することを目的とする。

要介護（要支援）者、及びその家族の状態変化に伴い、傾聴や相談によって利用者や家族の不安や悩みを受け止め、生活全般を見渡しその置かれている環境など解決すべき課題を把握し、関わっていく中で徐々に利用者との信頼関係を構築しながら意欲を高め、自己実現に向けて支援していく。

宇和島医療介護連携システムみさいやネット（ICT）導入に伴い、施設や職種を問わず、利用者に関わる全ての医療者、介護者がフラットに情報を共有し、コミュニケーションを可能にすることで顔の見える地域包括ケアシステムを構築していく。また、独居及び認知症高齢者等の増加を踏まえ、効率的且つ適正なサービスの提供を図り、利用者やその家族が住み慣れた地域で生活を継続できるよう支援していく。

総合事業に関しては地域包括支援センター、介護サービス事業所、介護保険施設、医療機関等との連携を図り自立支援を意識し重度化防止に繋げていく。

事業内容(居宅介護支援事業所)

利用定員 居宅介護支援 205名(39名×5、10名×1)

職員定数 6名

事業開始年月日 いこい :平成13年4月1日

もみの木:平成29年4月1日

## 2. 令和2年度の重点目標

- ・各自が目標を立て、その目標に沿って事業所内外研修や他事業所との共同事例検討会に参加しより質の高いマネジメントの推進を図っていく。
- ・地域の人たちと顔の見える関係作りが出来るように情報収集により現状を把握して、住みやすい地域づくりを目指していく。
- ・地域ケア会議に参加し多職種からの助言や提案を頂くことで状態の重度化を防ぎ自立へと促せる支援へと結びつけていく。
- ・ICT導入に伴い医療と介護の繋ぎ目のない支援が行えるように関係機関との連携を図っていく。

## 令和 2 年度研修計画書

居宅介護支援事業所 いこい

作成日 令和 2 年 3 月 1 0 日

氏名 経験年数	個人目標	研修目標・研修内容・実施時期等		
		内部研修	外部研修	備考
伊藤 眞智 (14年)	合同研修会の企画実施方法を学ぶ。 地域との交流を図り地域課題を考える。	事例検討会	合同研修会 6、11 月	
		所内カンファ	地域ケア会議	
		研修報告	宇和島ケアマネの会	
			各種研修会	
寺崎 裕美 (18年)	地域の声が聞かれるように交流の機会を考え交流の場に参加する。	地域ケア会議の報告	地域ケア会議	
		事例検討会 1～2 回	各種研修会	
		所内カンファ	合同研修会 6、11 月	
山田 英幸 (7年)	常に中立の立場で誠実に対応していく。	事例検討会	社土開催の研修	
		所内カンファ	研修会	
		研修報告	合同研修会 6、11 月	
家森 佳子 (3年)	地域資源を知り視野を広げていきたい。	地域ケア会議報告	個別地域ケア会議	
		事例検討会	サロン活動見学	
		所内カンファ	各種研修会	
			合同研修会 6、11 月	

居宅介護支援事業所 もみの木

氏名 経験年数	個人目標	研修目標・研修内容・実施時期等		
		内部研修	外部研修	備考
水井 秀美 (5年)	地域との交流を図り地域課題を考える。 困難事例への取り組み方法を学ぶ。	事例検討会	合同研修会 6、11 月	
		所内カンファ	各種研修会	
		研修報告	地域活動への参加	
			地域ケア会議	
赤松 明子 (1年)	地域の声を取り入れ、交流の機会を企画する段階から関わり、地域交流の場に参加する。	所内カンファ	合同研修会 6、11 月	
		事例検討会	各種研修会	
		研修報告	地域活動への参加	
			地域ケア会議	